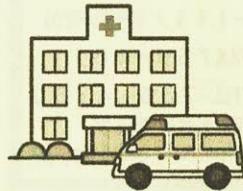


たんぽぽだより NO220 (2021年1月・2月)



これで、北部の医療を
確保できるのか？！
今井病院移転案

(仮称) 川西リハビリテーション病院
(医療法人晴風園) 民設民営
現川西病院敷地(医師・看護師寮跡地、
駐車場含む) 約 6300 m² 無償貸与

入院～160床（回復期120床
うち、20床は地域包括ケア
障がい・慢性期40床）
看護師配置は、15:1、13:1、20:1など
※現市立川西病院の原則は7:1

外来～月から金 午前診（小児科・内科）
土曜日休診
休日（日・祝・年末年始）診療～
診療は 10：00～11：30
13：00～16：30
内科（15歳以上）
※中学生以下はこども急病センター（伊丹）

★診療所計画にあった、整形外科や外科、開業医の誘致はなし。24時間365日、必ず、内科1診はありましたが、なくなります。

ンターと連携し、一体的に運営する「公設民営施設」として、24時間対応の一次救急や整形外科、外科などの外来機能確保、開業医を誘致しシャトルバスを走らすなどを掲げていました。

これら公的責任をあつさりかなく捨て、今井病院への小見科・休日診療確保のための新たな補助金※を出す。北部医療を守るとの市長公約はどこへ行つたのでしょうか。

る様々な災害対応や抜本的な世代継承を進めていくまちづくりを考える時、患者や職員の駐車場もない、人間ドックも感染症対応もない総合医療センター建設を含め、現計画のまま突き進むことを決して認める」とはできません。



「民意」と「基本協定」に反し、新たに市税を投入する「今井病院移転案」



地域医療は守れるか?

川西市では12月24日の議員協議会で市長から、これまでの北部診療所計画を撤回し、今井病院移転案を進めるとの報告が行われました。住民の多数の声に背を向け、市と協和会が結んだ「基本協定」にも反し、不必要的な税金の支出まで行う「移転案」に納得できるでしょうか。

迫られるなら診療所建設を求める署名」が2629筆提出されました。結局、24時間の一次救急すら北部に残さない今井病院移転案を市は選択しました。

う意見は聴いたことがあります。今も北部に二次救急の空白地をつくるな、病院の存続を、の声が根強くあります。

私は（黒田）は、この間「まちかどカフェ」など様々な場所で、いろいろな方にご意見を伺つてきましたが、北部から二次救急病院（現病院）をなくして良いとい

参加者数	市から依頼	組織から依頼	出前講座	合計
約〇人	435	210	85	730

表④ 「今井病院移転案について」説明会・参加者数について

なぜ、消防署はあちらこちらにあるのでしょうか？！市民の命と財産を守るために、一時でも早く現場に駆け付けるためです。今、病院を統廃合・ベッド削減をする必要などありません。全国的に病院と学校が無くなつた地域は過疎化へ。更に買い物をする場所や公共交通が減少、過疎化に拍車がかかる医療の空白地を拡大するのはダメだ。

⑧住宅団地として発展してきた川西市。しっかり世代交代するためのまちづくりに必要不可欠な北部の二次救急病院。医療や福祉制度を改悪する政権、追随する市政に「おかしい」「やめろ」声をあげ行動し続けましょう⑧◎



財政が厳しい・赤字再建団体になつたから～ 協和会が 17 億円で購入予定だった土地を市が 17 億円で購入。六価クロム等汚染土壌対策、1.3m 浸水地域対策。どんどん税金投入 毎日 900 人の外来患者。1000 人にものぼる職員の駐車場なし 新たに晴風園に土地無償化と補助金 住民優先の施策にするべき